

2019年度 第2回 学校関係者評価委員会
報告書
および改善方策

学校法人 東京滋慶学園
ベルエポック美容専門学校

2019年10月29日

2019年度 第2回 学校関係者評価委員会議事録

作成者：ベルエポック美容専門学校 遠藤

日時：2019年10月29日（火曜日）10:00～

場所：ベルエポック美容専門学校 第5校舎 101教室

参加者：＜委員会メンバー＞

村橋 哲矢 様：団体関係者 東京都美容衛生同業組合 専務理事
雑賀 英敏 様：業界関係者 トニーアンドガイ ジャパン 代表取締役（欠席）
青山 清 様：卒業生代表 アヴェンツファウンデーション 店長
大河 光太郎 様：業界関係者 ネイヴィル 代表
西村 尚美 様：保護者代表
関野 仁史 様：高等学校関係者 第一学院高等学校 キャリアコンサルタント
小泉 由梨 様：地域代表 穂伝表参道町会 会長
松永 英樹 様：業界関係者 アビー代表取締役

＜事務局メンバー＞

中村 道雄：学校法人東京滋慶学園 理事長
岩村 勇：ベルエポック美容専門学校グループ 運営本部長（欠席）
大谷 啓一：ベルエポック美容専門学校 学校長
三井 真以子：ベルエポック美容専門学校 事務局長
藤本 拓也：ベルエポック美容専門学校 教務部長兼美容師科学科長
黒崎 洋平：ベルエポック美容専門学校 トータルビューティ科学科長
菊地 慶：ベルエポック美容専門学校 ヘアメイク科学科長
加藤 真也：ベルエポック美容専門学校 美容師科通信課程学科長
成木 佳樹：ベルエポック美容専門学校 広報センター長（欠席）
古川 喜春：ベルエポック美容専門学校 キャリアセンター センター長
東 健一：ベルエポック美容専門学校 学生サービスセンター センター長
遠藤 直美：ベルエポック美容専門学校 学生サービスセンター

10:00 三井局長の号令で開会

10:01 中村理事長挨拶

日頃から、御支援頂き感謝申し上げます。前回頂いた御意見を取り入れ自己点検・自己評価に対し忌憚のない御意見をいただきたい。引き続きお願いいたします。

10:02 大谷学校長挨拶

今回も学校の運営について厳しいご意見を頂く事で活性化していきます。忌憚なき意見をいただき、今後の糧にしていきたいと考えている。よろしくお願ひしたい。

《資料確認》

- ・ 会議次第
- ・ 2019 年度 学校関係者評価委員会報告書および改善方策
- ・ 学校関係者紹介委員 評価結果

【学校関係者評価委員会目的の確認】

各学校が自らの教育活動等の成果や取り組みを不断に検証することにより

1. 各学校が、自らの教育活動そのほかの学校運営について、組織的・継続的な改善を図る。
2. 学校評価の実施・結果の公表により、適切に説明責任を果たすとともに、保護者・地域住民等から理解と参画を得て、その連携協力による学校づくりを進めること
3. 設置者が、学校評価の結果に応じて、学校に対する支援や条件整備等の改善措置を講じる事により、教育水準の保証・向上を図ること。

以上の3つが委員会の目的となります。

【評価の実施方法】

1. 各学校の教職員が行なう評価《自己評価》
2. 保護者、地域住民等の学校関係者などにより構成された評価委員会が、自己評価の結果について評価する事を基本として行なう評価《学校関係者評価》
3. 学校と直接関係を有しない専門家等による客観的な評価《第三者評価》

【職業実践専門課程】

文部科学省告示第 133 号平成 25 年 8 月 30 日

目的：職業に必要な実践かつ専門的な能力を育成することを目的として専攻分野における実務に関する知識、技術について組織的な教育を行なうものを文部科学大臣が認定する学科

本校では美容師科が対象となる

トータルビューティ科、ヘアメイク科については来年に向けて申請準備をしている

認定(抜粋)：

- 専攻分野に関する企業・団体等との連携体制を確保して、授業科目の開設とその他の教育課程の編成を行なっている。
- 企業と連携して、実習、実技、実験または演習の授業を行なっている。
- 企業と連携して、教育に対し専攻分野における実務に関する研修を組織的に行なっている。
- 評価を行い、その結果を公表している。
- 評価にあたっては、関係者として企業の役員または、職員を参画させている。
- 企業に対し教育活動や学校運営の状況に関する情報を提供している。

【学校関係者評価のスケジュール】

- ～5月 昨年度の自己点検・自己評価の実施
- 6月 「学校関係者評価委員会」
自己評価結果に関する評価と提言
- 6月～ 本年度事業計画の修正
または次年度事業計画に反映

【教育課程編成委員会の具体的なスケジュール】

- ～5月 昨年度の自己点検・自己評価の実施
- 6月25日 「第1回教育課程編成委員会」
教育課程の評価と提言
- 6月～ 本年度カリキュラム・学事スケジュール
の修正または次年度教育に反映
- 10月29日 「第2回教育課程編成委員会」
6月～8月までの教育改善の評価と提言
- 10月～ 次年度カリキュラム・学事スケジュール等
教育課程の改善

《職業実践専門課程》

【概要】

学校名：ベルエポック美容専門学校

2000年4月開校

学 科：○美容師科 2年制

○トータルビューティ科 2年制

○ヘアメイク科 2年制

校 舎：第一校舎 東京都渋谷区神宮前 3-26-1

第二校舎 東京都渋谷区千駄ヶ谷 3-57-6

《学校関係者評価委員会》

2019年度 自己評価内容(抜粋)

教育理念 目的 育成人材像

職業人教育を通じて社会に貢献する

実学教育

人間教育

国際教育

入学生全員がより高い専門性を身に付け、
必要とされる資格を取得し、希望する仕事に
就き、永続的に活躍する

定員充足

+

健全な学校経営

目標達成に向けての取り組み

全員で学生を見る・知る・対応する

自己変革型の人材を輩出する為に

- ①担任業務 基本の徹底
- ②シンドローム対策の強化
- ③保護者・講師との情報交換強化

学校運営

新しい取り組みや、新規事業に チャレンジし続ける組織

- 常にイノベーションの視点を持ち、社会に受け入れられる学科・サービスを開発・提供する。



《学校関係者評価委員会》

2019年度 重点目標

- ①入学者数 400名以上
- ②退学率 5.9%以内
- ③就職率(内定率)100%

1. 本校が独自に実施する「原宿コラボレーション」において、本校と原宿の地域文化・企業との連携を推進し、業界で求められる技術力とコミュニケーション力をもった人材育成ができる教育システムを構築する。

2. 変化の激しい時代で活躍できる「自己変革型」の人材を輩出していく。導入教育を見直し、学生自身が自分で考え「主体的」に行動できるようにしていく。

2019年度 重点目標・見込

2019年10月27日現在

- ①入学者数 400名以上

見込:450名(美160名、HM160名、TB130名)

- ②退学率 5.9%以内

見込:5.9% 50/842名 昨年:55/812名(6.8%)

- ③就職率(内定率)100%

見込:100%

① 入学者数 400 名以上 (三井)

入学者数については本年度、美容師科とヘアメイク科は AO 入試第 1 期出入学定員の見込みが立つ状況であった。またトータルビューティ科も 10 月には定員の見込みが立ち目標を達成する見込みが立っている。

② 退学立 5.9%以内 (藤本)

退学率については例年ではあるが 4 月～9 月の前半の退学者が多い。

現段階の退学者 19 名、2.2%。しかし、今後の見込みでは 40 名近い学生が退学的意思表示をしておりパーセンテージでは 4.7%。要因は、様々あるがオープンキャンパスでの印象と実際の授業や学校生活のギャップがある。また、長期休み明けに帰属意識の薄れや意欲低下で登校できない、パニック障害や鬱傾向で来られなくなってしまう。今年度目立ったのは妊娠、結婚で 4 名が退学となっている。その部分に対しての教育や動機付けに力を入れていく必要があると考えている。

③ 就職率(内定率) 100%の実現 (古川)

見込み 100%

就職内定率は 3 月末に就職希望者全員、就職を決めるという意味で毎年内定率 100% を掲げている。

一昨年は美容師科が、3 月末 13 名が未内定状態となり 4 月以降もキャリアセンターで就職支援を行っていた。昨年は、一昨年の反省を基にキャリアセンター中心に対策を立て実行し、3 月末就職率 100% を達成した。しかし、一昨年 100% 達成出来ていたヘアメイク科とトータルビューティ科で未内定者が出てしまった。トータルビューティ科で 3 名、ヘアメイク科で 8 名の未内定者があり内定に導く事が出来なかったと言う反省があった。その点を踏まえ、今年度、秋から冬の内定シュミレーションは順調に推移している。目標の 100% に向けて年末から年明けにかけて未内定の学生に対して対策を打っている段階。

美容師科に関しては今後国家試験を控えている。年内で就職を決めるように促し、年明けには国家試験に向けて集中できる環境なるよう支援している。

昨年の実績としては、合格率 95.7% 141 名受験し 135 名の合格。1 名が実技不合格。残りは筆記で不合格。筆記が課題となっている。合格率 100% を目指し取り組んでいる。また、9 月に保護者会を実施し家庭での支援もご協力頂けるように対策をしている

《通信課程の国試結果報告》 (加藤)

2019 年 9 月 30 日の国家試験結果報告

113 名受験 101 名合格 合格率 89.3% (全国平均 合格率 58%)

日本一の合格率を出す事が出来たが実技 3 名、筆記 10 名の不合格となりまだまだ課題は残る状態だが 100% の合格を目指し課題に取り組んでいきたい。

《取り組みの報告》

- ・2019年10月美容師科 VR 特別授業 [協力:Lily 寺村さん]
縮毛矯正の技術を習得するスピードをVRを導入することで早められるのかを学生モニターで検証し、就職時点で縮毛矯正の技術を兼ね備えたアシスタントとして売上貢献または本人の武器となる事を目指している。
- ・2019年9月5日 隠田神社祭の参加 約70名の参加
- ・美容師科2年生 地域清掃の実施 (次年度は全学科で実施予定)
- ・プラチナ会でのネイル技術提供

《高等教育無償化について》

本校は9月に認定校となった

高等教育無償化

<対象となる世帯>

住民税非課税世帯(年収270万円未満) ⇒ 満額支援
年収300万円未満の世帯 ⇒ 住民税非課税世帯の2/3
年収300万~380万円未満の世帯 ⇒ 住民税非課税世帯の1/3

支援1	入学金	授業料
専門学校	約16万円	約59万円
支援2	自宅生	自宅外生
専門学校	約32万円	約52万円

全国の対象校(2019年9月20日発表)

大学・短期大学は1043校(全体の97.1%)、

高等専門学校は57校(全体の100%)、

専門学校は1688校(全体の62.2%)が高等教育無償化の対象校

<ベルエポックで対象となる可能性のある学生>

・新入生74名(美26名、TB20名、HM28名)

・在校生1年生に向けて説明会(10月23日、10月28日実施)

【学校評価意見徴収】

村橋様)

学校と連携して離職を防いだ事例から、そのような制度を設けていくのも良いのではないかと感じている。

自己点検、自己評価総括の大項目【社会貢献・地域貢献】はもっと力を入れて頂きたい項目。

2020年に向けて、そのような機会が多くありオリンピックの選手村での美容サービス等でボランティアの募集もしているので是非協力を頂きたい。

松永様)

参考となった。原因、対策、今後の点愛の積み重ねがこの結果となっている問題となっている部分は、ジェネレーションギャップの部分もありサロンでは中間の子にストッパーとなる役目を担ってもらう事で離職を防いでおり効果が出ている。少子化の問題もあり就職しやすい環境になっている。お客様と新人の年齢差が大きくなり、お客様の目も肥えていて、お客様からの些細な指摘で自信をなくすケースも多い。掃除が出来ていない。シャンプーが下手。返事が出来ていないという基本的な事が出来ていないと指摘される。

大河様)

すぐに行動している、スピード感がベルエポックのいいところだと感じる。学校を通して、卒業生同士の交流がある。さらに年代毎や立場毎のセミナーや交流の機会があるといいと感じる。それぞれの年代がギャップを感じるタイミングで、それを乗り越える方法が知れると安心感やコミュニケーションが取れ、さらに活発に活動でき糧になる。また人間的な成長ができる。

青山様)

前回からのレスポンスの速さが素晴らしい。親の目線では学費・実績・就職を重要視する。若い世代の子達への歩み寄りが大切で、新鮮な意見や良い意見は沢山あると思っている。上の人間の良い背中を見せるのが重要だと考えている。先日、中途で入ってきた1年目の子に辞めたいと相談された。間をまたがずに、代表である自分に相談してきた。本来であれば自分より、中間生や、1年上のスタッフの方が話しやすいはずであるが。その時にスタッフ間で相談できる環境が築けていなかったように感じた。その時に不満に感じている事や、自分がどうなりたかなどしっかり話を聴いてあげる事で改善できる部分が多くあった。まずは、しっかりと向き合った会話が大切だと感じた。

西村様)

自分の子供は高校ではよく休んでいたが、専門学校に進学し通学時間も今まで以上かかるが、休まずに行っている。その様子を見ると学校が楽しいのではないかと感じている。学ぶ環境として教室等の温度調整や管理に注意して頂きたい。

関野様)

募集が8月の段階で目処が立っているのは素晴らしい。評価結果の『卒業生の社会的評価』について申し上げますと、卒業生の活躍する仕組みについて、第一学院高等学校では毎年卒業生に連絡し、状況調査を行なっている。そのような取り組みをし卒業生の状況をまとめていくのも良いのではないかと。また、卒業生に対するキッズ向けのヘアアレンジ講習などを行ってもいいのではないかと。大人の接客に苦手意識や楽しみを感じられない学生の中で、子供対象なら出来るという方も多くと聴く。また近年、キッズイベントで子供のヘアアレンジやメイクが人気で様々なイベントで必要とされている。

退学率の部分で退学率を下げるには担任任せではなく、組織として取り組むのが重要である。

チームとして退学者防止に努めるような思い切った策にチャレンジしてもいいと感じた。

小泉様)

プラチナ会の協力にお礼申し上げます。

常に良い方向に考え、動いている。地域の代表として、美化推進委員会の取り組みに出て頂くと地域と繋がりも増え、様々なところでベルエポックの名前が出るようになると良い。12月8日にフェスタ原宿というイベントに子供向けのネイルやメイクのブースを出してもいいと思う。地域イベントが沢山あるので、積極的な参加をしていただきたい。

黒崎)

離職の話で、人間関係を理由に辞める方が多い。若い世代が上の世代を知る機会が無いと感じている。そういった機会を授業等で展開してみたいと感じた。学生が入学してから学んだ技術を承認してもらう機会を多くつくっていききたい。

菊地)

退学の部分に問題意識がある。特に学生がギャップを感じる部分で美容に興味がなくなったと言う理由に人間関係が大きく関わっているケースも多い。担任の関わりだけでなく役割を超えたフォローが印象的だったので、クラス替えをした今のタイミングで役割を越えたフォロー体制で学生支援していききたいと強く感じた。

加藤)

離職について卒業生がどこに、誰に相談したらよいか分からないと言う声が聞こえるので学校に相談できるような窓口を設けられると、離職を防げると感じた。

古川)

8年9年前は、若い人材をどう育てたらよいか?という業界の方からの相談が多かったが、昨年や今回の委員会や業界の方のお話を聴くと、若い人材の育成に対して真剣に考え様々なご意見を聴くようになった。また、実際に具体的な取り組みや、改革をさせていただいている現状に大変ありがたいと感謝している。今後も活発な意見交換を行なう事で、美容業界を目指す学生達の支援をしていきたい。

東)

現在の教育の状況は、小中学生は既に学習指導要領でも絶対評価で成績をつけるようになっている。しかし、来春から実施される高等教育無償化では相対評価を前提とした採用基準の設定となっており国が掲げている人材育成基準が一致していない状況ある。いずれ絶対評価に統一される見込みは用意に立つが、その時に人材育成として産学一体の人材育成が求められる。このような社会情勢であるからこそ、幅広い業界諸氏からのご協力を頂き教育に反映していくことが本校の使命と考えている。今後ともご協力を賜りたい。

遠藤)

卒業生が多く活躍し、下の世代にベルエポックを勧めて頂いている話を多く聴く。
本当にありがたい。今後も良い繋がりが築けるように努めていきたい。

中村理事長)

本日は貴重な意見ありがとうございます。学校としてはドロップアウトをゼロにしていきたい。
今後ともご協力よろしくお願ひ申し上げます。

次回開催予定時期のご案内

- ・2020年6月中旬 火曜日予定
- 10:00~12:00 学校関係者評価委員会
- 13:00~15:00 美容師科教育課程編成委員会